

第4章 計画の推進、検証・評価

1) 計画の推進体制

(1) 八尾市社会福祉審議会、八尾市社会福祉審議会地域福祉専門分科会

学識経験者をはじめ、各福祉分野の団体・関係者及び市民委員等で構成する「八尾市社会福祉審議会」及び「八尾市社会福祉審議会地域福祉専門分科会」において、毎年度計画の進捗状況等について、報告・点検を行い、本計画の推進を図ります。

(2) 庁内連携体制の構築

地域福祉計画は、高齢、障がい、こども、防災など、多岐にわたる分野との連携が必要となります。そのため、庁内の関係各課と適宜連携を図り、問題や課題の解決に努めます。

(3) 社協との連携

地域福祉の推進にあたり、地域福祉活動計画を推進する社協との連携は必要不可欠です。社協と適宜、意見交換・情報共有・検討を行いながら、施策・事業の推進に取り組めます。

2) 計画の点検・評価（進行管理）

計画の評価にあたっては、本計画で定めた指標の達成に資する事業を設定し、アウトカム・アウトプットによる評価を行います。

また、10の実行計画の進捗状況を計るため、具体的な取組みに係る事業や取組みについてリストアップし、毎年、その実施状況について確認を行っていきます。

指標一覧

基本目標と実行計画	項目	策定時 令和元年度 (2019年度)	現状 令和5年度 (2023年度)	目標 令和10年度 (2028年度)
基本目標1 身近な地域でつながり支え合う基盤づくり	地域での福祉活動が活発だと思ふ市民の割合	29.9%	29.7%	60.0%
(1)地域福祉への意識、関心の啓発・醸成	さまざまな人がつどい学べる場の修了者数	—	74人	100人
(2)地域力向上に向けた支援	八尾市地域福祉推進基金事業助成金活用件数	8件	7件	20件
(3)見守り・早期発見のしくみづくり	見守り活動への協力事業者数	701件	658件	745件
	「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数	—	5小学校区	28小学校区
基本目標2 多様な主体の参加支援と連携・協働の推進	地域活動や市民活動に参加した経験がある市民の割合	41.6%	40.5%	60.0%
(1)幅広い市民の参加促進	地域資源マップ登録件数	326件	321件	400件
(2)地域福祉の担い手のすそ野拡大	地域の福祉活動に関わっているボランティアセンターにおける福祉ボランティア登録者数	1,852人	1,334人	1,600人
	市民後見人バンク登録者数	28人	34人	60人
(3)多様な主体との連携強化	地域内のさまざまな主体での会議回数（高齢者、障がい者、学校園等、保育所（園）、児童に関する地域内施設等）	41回	69回	82回
基本目標3 身近な地域で支援が届くしくみづくり	つなげる支援室で支援調整などを行い終了した割合	—	76%	80%
(1)地域の権利擁護の推進	権利擁護に関する相談件数（チーム派遣・個別相談・専門相談・市民後見人相談の合計）	—	465回	600回
	市民後見人の受任件数	5件	7件	20件
(2)生活困窮者への支援	就労支援対象プランを作成した者のうち、就労開始または増収につながった者の割合（率）	—	49.4%	60%
(3)災害時要配慮者への支援づくり	「災害時要配慮者支援指針」に基づく同意者リスト活用小学校区数	—	5小学校区	28小学校区
(4)支援機関協働による地域生活課題を解決するしくみづくり	つなげる支援室で支援調整などを行い終了した割合	—	76%	80%